

平成29年度内閣府支援事業

第1回相模原市公民連携地域プラットフォームセミナー

資料3

相模原市公民連携地域プラットフォームについて

平成29年12月18日

相模原市 企画財政局
企画部 経営監理課

主な内容

1. PPP / PFI の推進に向けた本市の取組
2. 公民連携地域プラットフォームについて
3. 今後の取組予定 等

PPP/PFIの推進に向けた新たな取組

事業立案

事業構想

庁内調整

H29.2
策定

PPP/PFI手法導入優先的検討方針
(検討評価)

必要に応じて活用
情報提供

意見等を反映

H30
予定

公民連携地域プラットフォーム

H29.6
導入

サウンディング型市場調査

計画策定

事業具体化

PPP/PFI事業
実施

- 人口20万人以上の自治体に対して策定要請
- 10億円以上の事業について、PPP/PFI手法導入の導入を公共自ら行う従来手法に優先して検討
- 平成29年2月策定
- 簡易な検討⇒詳細な検討⇒手法の決定

- 市、民間企業、各種団体、金融機関、大学等で構成
- PPP/PFI事業のノウハウ習得と、地元企業が主体となった案件形成能力の向上
- 異業種間ネットワークによる市場性の確認やアイデアの把握

- 民間から広く意見や提案を求め、一対一で対話
- 高い機動性
- 市場性の有無やアイデアを把握

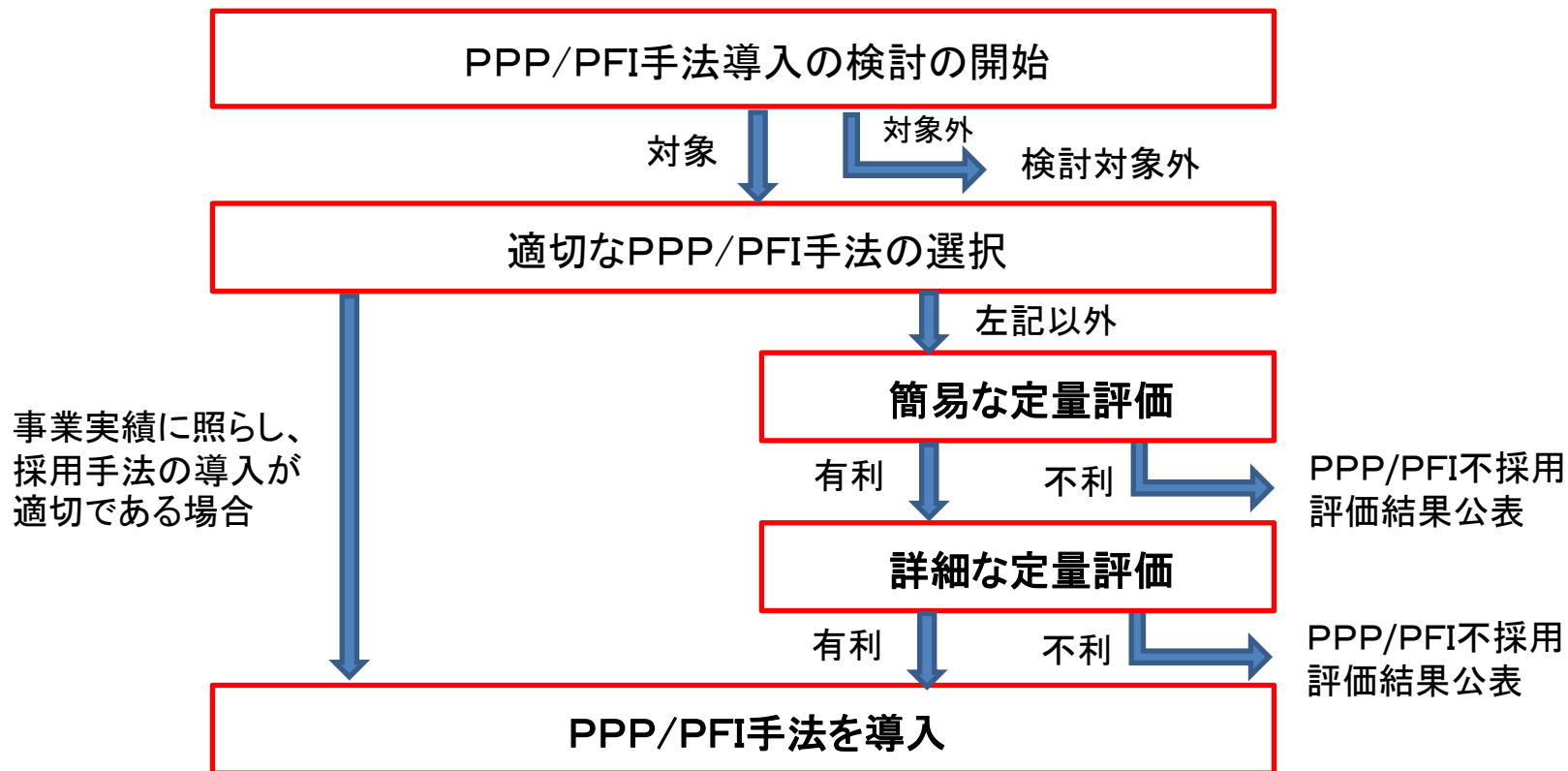
◆優先的検討の手法

指定管理者制度、包括的民間委託、PFI方式、公共施設等運営権方式、DBO方式、ESCO、DB方式、リース方式 等

◆検討施設・・・建築物、プラント、公園

◆事業費の基準

①事業費が10億円以上 又は②単年度事業費が1億円以上の維持管理、運営



サウンディング型市場調査 実施状況

H29.6
制度導入

件名	対話の実施	結果の公表
①相模原市立市民・大学交流センターの効果的な事業展開に向けたサウンディング型市場調査 【担当：市民協働推進課】	平成29年8月	平成29年10月
②相模原市(仮称)美術館（橋本）の整備に向けたサウンディング型市場調査 【担当：文化振興課】	平成29年9月	平成29年11月
③相模原市営藤野駅周辺駐車場事業 サウンディング型市場調査 【担当：津久井土木事務所】	平成29年11月	平成29年12月 公表予定

・各調査の詳細につきましては、市HPに掲載しております。

※トップページ_市政情報_政策・総合計画_相模原市PPP（公民連携）活用方針_

【サウンディング型市場調査について】

・今後も随時実施していく予定です。

地域プラットフォームの活動を通じて、 地域におけるPPP／PFI事業の案件形成能力を高め、 地元企業が主体となった案件形成・事業参画を目指す

目指す姿

【地域・民間】PPP／PFIを導入することで、地域における新たなビジネス機会を創出・拡大して、地域経済好循環を実現する。

【市】市の財政が厳しさを増す中で、公的負担を抑制しながら、公共施設・インフラの更新・維持を効率的に実施する。

平成30年度設置予定

地域PFの 目的・役割

- 地域におけるPPP／PFI関係者間の連携強化、人材育成、官民対話等を行う、産官学金で構成された地域プラットフォームの形成・活用が有効
- 地域におけるPPP／PFI事業の案件形成力を高める必要性
- PPP／PFIの経験やノウハウ、理解の不足などの課題を解消するため、勉強会、個別事業へのPPP／PFI手法活用に関する官民対話、異業種間のネットワーク形成等の取組を実施

現状

・PPP/PFI手法導入のメリットが十分に理解されていない

・自治体と地元企業の双方にノウハウが不足している
・地元企業において受注機会に対する懸念がある

・PPP/PFI事業に取り組む上で必要となる異業種等のネットワークが不足している

・自治体の考えがわからない
・どういった事業を予定しているのか、どのような公的資産を保有しているかわからない

・自治体だけでは、PPP/PFI手法の導入や公的資産の活用等に関するアイデア創出に限界がある
・民間からPPP/PFI事業に関するアイデアや意見を提案できる機会や方法がない

期待される機能

普及啓発機能

人材育成機能

交流機能

情報発信機能

官民対話機能

※内閣府「PPP/PFIプラットフォーム運用マニュアル」を基に相模原市が作成

効果

- 多様なニーズに対応する市民サービスの向上
- 事業機会・雇用の創出や地域のにぎわいづくりによる地域経済の好循環を実現
- 市財政負担の軽減・平準化

他市における地域プラットフォーム活動体制

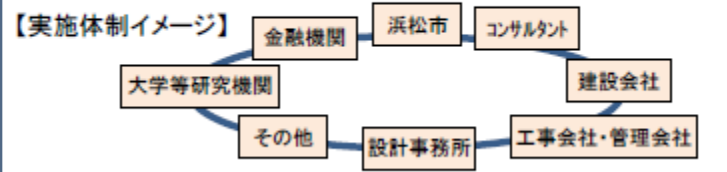
浜松市

実施体制

①構成員(案)

産 : 地元事業者(多様な業種、規模から参画)
 官 : 浜松市(将来的には、近隣の地方公共団体も視野)
 学 : 地元の大学等研究機関、または学識者
 金 : 静岡銀行、浜松信用金庫、遠州信用金庫 等

②体制



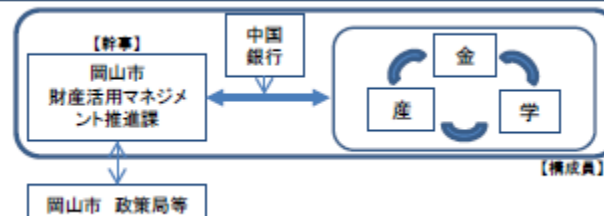
岡山市

実施体制

①構成員

産: 岡山商工会議所、岡山県商工会連合会、(一社)岡山県建築士会等 11団体2法人
 官: 岡山市
 学: 岡山大学
 金: ㈱中国銀行、㈱日本政策投資銀行岡山事務所、㈱トマト銀行、岡山信用金庫

②体制

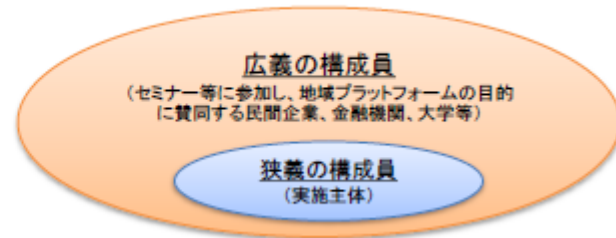


神戸市

実施体制

①構成員(狭義)

産: 神戸商工会議所
 学: 兵庫県立大学、関西学院大学
 官: 神戸市
 金: ㈱みなと銀行、みなとコンサルティング㈱、㈱日本政策投資銀行
 ※セミナー等へ参加する企業・団体は広義の構成員と定義。



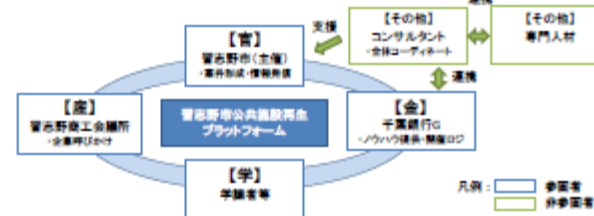
習志野市

実施体制

①参画者 : 参画者は以下の産官学金から構成する。

【産】	習志野商工会議所、習志野商工会議所 プラットフォームへの出席企業	市内の様々な業種・規模の事業者が約2,100社入会、商業、工業、建設業部会等がある。中小企業診断士による経営相談が可能。
【官】	習志野市(財政部資産管理室資産管理課)	公共施設等総合管理計画を所管
【学】	山本尚史 拓殖大学 経済学部経済学科長 その他有識者	地方公共団体等に地域経済活性化のための施策等を助言。
【金】	千葉銀行(今年度、開催事務局の一員として参画)、千葉興行銀行、京葉銀行	市内に支店が立地、千葉銀行は県内におけるPR参画実績が豊富であり、PR導入支援からエージェンツ業務まで連続した支援を実施。

②体制 : 市が主催、全体コーディネートをコンサルタント、参加者への情報発信を商工会議所、ノウハウ提供や開催運営を千葉銀行グループが担当。



STEP1【設置検討】（平成29年度）

- 地域プラットフォームの在り方の検討
- 設置・運営までのステップの確認、調整
- 地域プラットフォームの枠組みの構築

勉強会

- 市・商工会議所事務局職員を対象としたPPP／PFI勉強会（H29.6.2開催）
PPP／PFIの概要など

セミナー （全3回）

- 内閣府「地域プラットフォーム形成支援」（日本総合研究所）
セミナーの開催、PF設置に向けた支援
- 地域プラットフォーム設置に向けたセミナー
PPP／PFIの基本的知識の習得、他都市の実施事例の紹介など
《参加メンバー》産・官・学・金
・相模原市、民間企業、各種団体、横浜銀行、地域金融機関、学識・研究機関（市内・近隣大学、浜銀総合研究所）等

【参考】相模原市、横浜銀行は、内閣府・国土交通省による「平成29年度 官民連携事業のための関東ブロックプラットフォーム」メンバー

STEP2【設置】（平成30年度）

セミナー・
意見交換

- セミナー、意見交換会、ワークショップ、アンケートなど
PPP/PFIに関する知識等の蓄積、ノウハウの習得、相模原市からの情報提供、事例研究、課題や情報の共有、連携強化
- 《参加団体》
市内企業を中心に広く民間企業から募集
- 地域プラットフォームに参加する民間企業の理解醸成
 - 異業種間ネットワークの形成推進

STEP3【運営】（平成31年度以降）

継続性

- 継続的な運営、地元企業が主体となったPPP/PFI案件の組成

発展性

- 民間企業のメリット
PPP/PFI力の向上、異業種間ネットワークの形成や、具体的な案件形成に向けた民間提案、官民対話の場として活用

多様性

- 相模原市のメリット
市場性を把握した事業選定、参加しやすい公募条件の設定、事業者からのアイデア等を活用した効率的・効果的な事業の実施

連携性

今年度3回のプログラム予定 (① 12月、② 1月、③ 2月)

	事業概要	主な役割・内容等
運営	相模原市 (官)	P F 立ち上げ準備、セミナー主催
	横浜銀行 (金)、浜銀総合研究所 (学)	P F 立ち上げ支援、セミナー協力
	相模原商工会議所 (産)	会員への情報提供、セミナー協力
	日本総合研究所 (コンサル)	P F 立ち上げ支援
参加者	市内の民間企業、各種団体、金融機関、相模原市	セミナー参加、基本的知識の習得
講師	相模原市、横浜銀行、浜銀総合研究所、日本総合研究所、民間企業、学識者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ P P P / P F I の意義、特徴 ・ 相模原市の財政状況、課題等 ・ P F の目的、今後の活動内容 ・ 他地域の事例紹介 ・ P F I のファイナンスの特徴 ・ P F I 事業参画のポイント ・ 相模原市のからの情報提供 ・ アンケート 等

「相模原市総合計画 後期実施計画」(H29~31) 事業

事業名	事業概要	3か年の事業内容
(施策19) ●淵野辺公園における新たな体育施設の整備(総合体育館、アイススケート場)	総合体育施設及びアイススケート場の整備等について、検討を進める。	・具体的な整備手法等の検討 など
(施策20) ●美術館整備事業	市民が様々な文化芸術に親しみ、参加するための美術館整備を進める。	・整備に向けた検討調査 など
(施策38) ●都市計画推進事業(淵野辺駅周辺まちづくりの検討)(公民館、図書館等)	多くの公共施設が立地する淵野辺駅南口について、公共施設の集約・複合化による再整備の検討を進めるとともに、民間活力を生かした駅周辺の魅力あるまちづくりを推進する。	・施設の集約・複合化の検討 ・適正な施設配置の検討 ・整備手法等の検討 など

今後も、PPP / PFI の推進に向けて、
市と地域の企業・団体、大学、金融機関等が連携し、
PPP / PFI に関するノウハウの習得や
情報の共有化を図りながら、
地元企業が主体的役割を果たせるような
枠組みづくりを目指すものとして、
平成30年度の公民連携地域プラットフォームの
設置に向けて取り組んでまいります。
御清聴ありがとうございました。

相模原市 企画財政局 企画部 経営監理課

042-769-9240

keieikanri@city.sagamihara.kanagawa.jp